

田岡化学工業株式会社
2023年3月期第2四半期 決算説明会 質疑応答要旨

日時：2022年11月16日

当社説明者： 取締役社長 佐々木 康彰
専務取締役事業支援室長 田岡 信夫

[説明内容]

11月16日に開示した全31ページのPDFに沿って説明。

https://www.taoka-chem.co.jp/ir/note/202303_2_briefing.pdf

[質疑応答内容]

<樹脂原料について>

質問1 四半期ごとの売上高について、1Qから2Qにかけてかなり減少しているが、3Q、4Qはどうみているか。

回答 樹脂モノマーの在庫について、顧客の樹脂の在庫ともに高い水準にあると認識している。特に2Qは販売の落ち込みが大きかった。3Q、4Qは2Qよりはやや数量は増加するが、依然として在庫調整中とお考えいただきたい。

質問2 三菱ガス化学の決算説明会では、ある程度在庫調整は終わっているもののスマートフォンの需要が減少しているため、今年度の出荷は回復しないとのことだった。一方で御社の在庫調整が継続するようなコメントがあったが、樹脂モノマーの在庫が残っているということか。

回答 需要家から当社が聞いている範囲の話したが、昨年下半期から在庫調整が続いているのは、2020年度に華為と米国の関係から、彼らのライバル社が実需以上にスマートフォンを生産したことで、樹脂モノマーについても実需以上の販売となり、この時点で先の流通在庫がかなりあったと認識している。この流通在庫についてはある程度消化が進んでいるが、本年度に入りスマートフォンの売れ行きが悪い状況が続いた。販売が回復する前提で当社も需要家も事業計画を組んでいたため、当社も需要家も相当の在庫を抱えているのが実態である。

質問3 三菱ガス化学も樹脂モノマーの在庫を抱えているため、御社と三菱ガス化学の生産の状況にはしばらく差が出るとの理解でいいか。

回答 ご理解の通りである。

- 質問 4 樹脂モノマーの在庫調整はいつ頃終わる見通しか。
- 回答 スマートフォンの需要動向や需要家の新しい分野の販売がどうなるかにかかっているが、現時点では保守的に状況を見ており 23 年度も引き続き在庫調整が続くと考えている。
- 質問 5 ペリスコープレンズや VR デバイスへの新用途について、樹脂モノマー自体のグレードも従来と異なるのか。そういった動きもわかるのか。
- 回答 当社では、一対一でこの樹脂モノマーがどの用途に使われるかという情報は聞いていない。ただ、機能的に高いものに使われていると推定している。
- 質問 6 三菱ガス化学との合弁会社設立について、御社の工場と合弁会社の工場が立ち上がることになるが、売上は今と比べるとどの程度増えるか。
- 回答 まず来年度、合弁会社のプラントが完成して立ち上がる予定である。一方で樹脂モノマーの需要は、これまで当社の供給能力を上回っており、この差は他社への委託やライセンスで補ってきた。既存の供給能力に合弁会社の新プラントの能力を足し合わせたものと実際の需要との関係になるが、現時点ではあまり差がないと見ており、新プラントを含めてある程度稼働を確保できると考えている
- 質問 7 合弁会社のマジョリティーを三菱ガス化学が持っているが、その理由は何か。
- 回答 合弁会社については、元々両者イコールパートナーの精神で出発している。その中で、プラントを三菱ガス化学の敷地内に建てることになり、マジョリティーを主張され、それに対し当社は 49% 出資で合意した。ただ、イコールパートナーという基本的な精神があるため、両社の合意で運営されることになる。
- 質問 8 合弁会社のプラントについて、車載用、スマートフォン用、VR デバイス用等中身はどうなるのか。
- 回答 生産するグレードのすみわけは予め決まっておらず、両方の工場の生産性を勘案し、三菱ガス化学と相談して決めていく。
- 質問 9 従来外注に出していたものを内製に切り替えるとの理解でいいか。
- 回答 ご理解の通りである。
- 質問 10 中期的に高画素化に伴うレンズ使用枚数増加の流れは続くと思うが、TOF やペリスコープへの使用等の見通しはどう考えておけばいいか。
- 回答 当社が聞いている範囲では、全体の数量について、成長は続いていくと考えている。

また、さらなる高屈折率レンズに使われる樹脂モノマーの研究開発も続けている。
新しい分野にも対応できるよう需要家と協力してやっていく。

質問 11 車載用途も期待されているが、耐熱性や耐候性について、樹脂モノマー開発で解決の道筋は見えているのかなど、長期的な研究について教えてほしい。

回答 ご質問の内容については需要家での開発に関わることであり、当社に直接的に用途を定めた樹脂モノマーの開発要請があるわけではない。

質問 12 例えばVRとAR用途も同様に樹脂モノマーとしてあまり変わらないのか。

回答 当社もどの用途に使用されるかまで開示は受けていないが、色んなグレードを開発しているのは事実である。

以上